

中学総体ソフトテニス 男一中・女三中 優勝



男子団体戦優勝の一中



女子団体戦優勝の三中

令和元年度習志野市中学校総合体育大会・ソフトテニスの部が7月20日と21日、秋津アネスコートで開かれた。

団体戦では男子は一中A、女子は三中A、個人戦では男子は一中の中村・田辺組、女子は三中の土屋・志村組が優勝を飾った。団

体戦優勝の両校と個人戦各上位4組は県大会に出場。団体戦で優勝した男子一中の中村郁斗・キャプテンは「精神面を鍛え直し、チーム一丸となって市内3連覇を成し遂げることができた。応援してくれた方への感謝を忘れず、県大会では自分たちのテニスをし

て、不撓不屈の精神で最後まであきらめずにがんばります」と、女子三中の土屋からキャプテンは「最後の大会である総体で優勝することができ、とてもうれしかった。いままでの練習の成果を発揮することができたこと、このチームよりも優勝したいという思いが強かったのだと思います。保護者の方、先生、

仲間からの応援がとても力になりました。県大会では自分たちのプレーができるよう、がんばっていきたいと思います」と話した。大会結果は次の通り。

【男子個人】
①中村郁斗・田辺実路(一中)
②角田宏樹・灰西功太郎(一中)
③常泉一希・片山雅彦(一中)
④松嶋琉世・高橋涼介(一中)
⑤石堂雄大・小塚英智(一中)
⑥佐藤頼太・大屋敷颯太(四中)
⑦池田春輝・若生隼佑(五中)
⑧山屋颯士・渡辺大(五中)

【女子個人】
①土屋そら・志村香(三中)
②伊藤凛・黒田心(四中)
③亀岡友里・森田菜々(三中)
④河合りさ・石井真由(三中)
⑤玉村こころ・花島理乃(三中)
⑥長谷川凜・清田雪羽(五中)
⑦山崎莉奈・村田佳月(五中)
⑧立本恋乃花・園田万陽瑠(五中)

優勝の七中

令和元年度習志野市中学校総合体育大会・バスケットボール競技の部が7月13日から21日まで、東部体育館で開かれた。

男子は三中、女子は一中が優勝を果たした。

男子三中の佐藤壮真キャプテンは「春季大会では悔しい思いをしたので、総体では負けないように練習からより集中して取り組むようにしてきました。決勝戦の前半は相手センター陣にやられてしまった。後半からは三中らしい『走るバスケット』ができたので、県大会では最後まで足を止めないで走り続けたい」、女子一中の天野凛キャプテンは「新人戦から3連覇とい

う結果を残すことができてうれしかった。ここまで来ることができたのはたくさんの支えがあり、一人ひとりが努力し、がんばったからだと思います。県大会では習志野を背負い、第4ピリオド終了のブザーが鳴るまで全力で戦いたい」と話した。

男子三中と女子一中の両校は7月28日から開催の県大会に出場。男子三中はベスト8となった。女子一中は2回戦で優勝した昭和学院中に敗れた。

大会結果は次の通り。

【男子の部】
▽予選Aリーグ
①一中②二中③六中④四中
▽予選Bリーグ
①一中②四中③五中④七中

【女子の部】
▽予選Aリーグ
①一中②七中③三中④東邦中
▽予選Bリーグ
①四中②五中③二中④六中

▽準決勝戦
一中 62-29 五中
四中 52-49 七中

▽決勝戦
一中 75-65 七中
三中 83-52 二中

▽決勝戦
三中 76-22 一中
①三中②一中③二中④七中



男子優勝の三中



女子優勝の一中

男子三中 女子一中に栄冠

【男子最優秀選手】
佐藤壮真(三中)

【男子優秀選手】
▽二中 丸山渉・清野智博
▽二中 白砂虎次郎
▽三中 井手陸翔・大越遼介・相

川耀・北川桜輔
▽四中 小野村樹
▽五中 桑田寛貴
▽六中 金城伶穂
▽七中 染

谷優輝
▽東邦中 福島健人

【女子最優秀選手】
天野凛(一中)

【女子優秀選手】
▽一中 中村仁美・小池美里・松田彩也香・坂口彩花

▽二中 三田千代美
▽三中 中村未桜
▽四中 齊藤華奈・松下心
▽五中 岡部りさ
▽六中 村田佳穂
▽七中 齊藤里奈
▽東邦中 山田愛弓

▽七中 三田千代美
▽八中 中村未桜
▽九中 齊藤華奈
▽十中 松下心
▽十一中 岡部りさ
▽十二中 村田佳穂
▽十三中 齊藤里奈
▽十四中 山田愛弓

くことができてよかった。みんなが笑顔でプレーできたことが優勝につながったと思います」と話した。大会結果は次の通り。

七中 春季に続きV 中学総体ソフトボール

令和元年度習志野市中学校総合体育大会・ソフトボールの部が7月20日から22日まで、第三中学校で開かれた。

決勝戦は春季大会と同じく二中と七中との対戦となった。先攻の二中は初回、2番藤巻がエラーで出塁し、4番土倉の中前適時打で先制。5番白鳥の内野ゴロの間に土倉が好走塁でかえり2点目が入る。七中は2回裏、6番村山が四球、盗塁。7番土金の中前

適時打で1点を返し、捕逸で同点とする。9番片平は右前安打、四球の1番武井は捕逸と盗塁で走者二、三塁とし、2番中谷の左前適時打で4-2と逆転。七中は3回には四球、相手エラー、土金の左前安打などで2点を加える。二中も土倉の二塁打などで反撃を試みるが、片平が要所を抑え、七中が春季に続き勝利した。七中の総体優勝は平成14年以来。

七中の村山紗月キャプテンは「いままでやってきたこと、仲間を信じて、最後まであきらめずに戦い抜

【男子個人】
①中村郁斗・田辺実路(一中)
②角田宏樹・灰西功太郎(一中)
③常泉一希・片山雅彦(一中)
④松嶋琉世・高橋涼介(一中)
⑤石堂雄大・小塚英智(一中)
⑥佐藤頼太・大屋敷颯太(四中)
⑦池田春輝・若生隼佑(五中)
⑧山屋颯士・渡辺大(五中)

【女子個人】
①土屋そら・志村香(三中)
②伊藤凛・黒田心(四中)
③亀岡友里・森田菜々(三中)
④河合りさ・石井真由(三中)
⑤玉村こころ・花島理乃(三中)
⑥長谷川凜・清田雪羽(五中)
⑦山崎莉奈・村田佳月(五中)
⑧立本恋乃花・園田万陽瑠(五中)

優勝の七中